

すぎのこ

129

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

事務局: 〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
演劇研修センター: 〒357-0063 埼玉県飯塚市飯塚325-2 TEL.042-971-4121 FAX.042-971-4155
演劇研修センター: 〒377-1611 群馬県吾妻郡碓氷村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1662

2013 1/1

2面・3面 巡回公演だより/制作だより/園からの声/会員の方からのお便り ほか
4面 事務局よりご挨拶/アンケート/賛助会のご案内 ほか

<http://www.suginoko.org/>

E-mail: support@suginoko.org



平成二五年元旦

賀正

☆新しい年の幕開けを心からお慶び申しあげます！
明治時代から百年以上続いた公益法人制度は、法人法改正により、すべての公益法人は各省庁所管か

ら内閣府所管に一本化され、すぎのこは新たな「公益財団法人」として移行認定を受け、二度目の正月を迎えることができました。
☆賛助会員拡大に感謝感激

「謹賀新年」 温もりある皆様に励まされて……!

理事長
小澤 幸雄

新年あけましておめでとうございませう。「かもとりごんべえ」班は、昨年も首都圏・東北地方を中心に上演を行いました。

かもとりごんべえ班
(もくもく劇場)
下村あきひ



公益財団法人に移行認定されたのをきっかけに、昨年、48年の歴史の中で初めて賛助会員の一般公募をしたところ、すぎのこの友人知人を始め、そのまた友人知人や一般の方々から、百名を超えるご入会をいただくことができました。その温かいお心遣いとお支援に、ただただ感謝と感激の一年を過ごしました。本当にありがとうございます。

☆税額控除団体を目指して

この度の公益法人制度改革には税制改正も伴い、一定の条件を満たした公益法人への寄付(賛助会費も含む)には、税額

控除(寄付金の一定割合を納税額から控除)できるようになり、寄付をする側受ける側にとって実に優しい税制になりました。一定の条件とはすぎのこの場合、三千元(賛助会費も可)以上の寄付者が、百名以上、二年間(本来は五年だが移行受付期間中は二年)継続して納付した場合可能となります。昨年入会された賛助会員の方々が一年で退会されることなく、引き続き会費を納付し継続していただければ、その条件は満たされ、今年には税額控除団体としての「認定申請」をすることが可能となります。

「賛助会」は、会員になっても何のメリットも付かないのに今も微増しています。本当にありがとうございます。

☆皆様の支えをもとに:
すぎのこのメイン事業「全国巡回公演」は、昭和39年に始まり、昨年三月迄の48年間で七万六千余回、年平均千六百余回の公演を実現しました。観劇いただいた団体各位には本当に感謝感謝の48年でした。

すぎのこはこうした皆様のご支援に應えるべく、創立の精神「どんな離島山間僻地の子ども達にもナマの舞台の感動を！」届けるために、公益法人としての使命「未来を担う子ども達の夢と希望を」育むために、今年も更なる精進を重ねて参る所存です。

私も今年には六度目の年男、来年のすぎのこ創立50周年に向け老体に鞭打って参ります。今後とも相変わらずご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸を心から祈念申しあげております。

巡回公演だより

今回は、からくり絵話「三匹のこぶた」との二本立てです。「三匹のこぶた」は、子ども達とのやりとりがお話のポイントなのですが、どの上演先でも、子ども達の熱い声援を受けて、とても楽しく上演することができました。

巡回公演では、何が起るかわからない、ナマの舞台の楽しさ、醍醐味があります。子ども達の人形劇を見る目は、大人よりもシビアで、興味がなければ見てくれません。毎回、毎回が子ども達との真剣勝負です。

とべー ドードー班
榎本 均

新年、あけましておめでとうございませう。今年も、人形劇で子ども達の笑顔に出会える喜び、行える感謝をあらためて感じておられます。それもこれも、私達の活動を支えていただいている方々の御理解、御賛同の深い土

壤のたまものでしかありません。この土を、私達は育てよう。迷い悩みながらも、この土にあらたな希望の花を咲かせよう。だれかれとなく、今、ここに一生懸命に生きている人達と共に新たな夢の花を咲かせよう。今あるということ、今これからのこと、果てしない道程だけども、心を寄せ合おう。

人形劇と子どもとの間に生まれる笑顔、それへの感謝、どんなに気持ちもあっても心が折れようと、笑顔と感謝に光明が見つけられる。子ども達の笑顔を決して、失くしてはいけない、誰だって泣いて生まれてくるけれど、たくさんの笑顔を、初春、笑顔の花を咲かせましょう。御芽出当。

とほづのなみだ班
 榎崎 数馬

昨年の巡回公演でのことです。上演後、お招きいただいた職員室で、園長先生がポツリとおっしゃられました。「私、この園もそろそろかな、と思っていたんですよ」と。

先生がおっしゃるには、子ども達を叱らなければいけない場面に出あったとき、以前ならばなんのためらいもなく声をかけられたことが、「まあ、いいのかな」と、一瞬声を躊躇されることが多くなった、というのです。もちろん、すぐに思い直して注意されるそうですが、そんなためらいが心に生まれてしまうこと自体、もう自分がやるべきことを意識している証拠だ、とおっしゃられました。原因はほかにもあるのはわかっている

けれども、それも含めて、もう……とお考えになられていたそうです。

「でもね」と、先生のお話は続きます。「今日のすぎのこさんの劇を見て、思ったんです。私には、まだできることがあるかもしれない、いえ、できることがあるはずだ、って」

このお言葉は、私にとって衝撃的でした。「子ども達にナマの舞台の感動を」が、すぎのこの人形劇の出発点であり、活動理念です。すぎのこが送り出す人形劇のすべてが、この想いに基づいて創られていますし、私達役者もその想いを胸に演じています。しかし、子ども達に届けたお話が、彼ら、彼女達の中でどう受け止められ、どんな種を播けたのかは、容易にはわかりません。必ず、伝わる何かがある、子ども達の糧になると信じて演じていても、結果を眺めること、感じることは難しいとも思っています。けれども、先生のお言葉は、私にとって、播種の結実を実感することができた希少な体験でした。

私達の人形劇は、子ども達にとって、生活のほんの一瞬の出来事に過ぎないかもしれません。けれども、その一瞬の出会いが、種子となりあるいは栄養となり、心の成長を手助けしているのだ、この思いは、先生の温かなお言葉をいただいたことで、より強いものとなって私の中に根付きました。

この思いを芝居に載せて、たくさんの子ども達に届ける。今まで通りのことを、今まで以上の気持ちを込め、改めて誓う元日です。

ねずみの嫁入り班
 高橋 麻衣

二学期から「ねずみの嫁入り」班に移動になりました。偶然にも昨年度と同じ地域を回らせていただいています。

最初は二つの作品とも主役ということで正直不安な気持ちもありましたが、子ども達の反応を一番見ることができると嬉しく思いました。私達の声がちゃんと聞こえているのかな？と思うくらい、元気な声を挙げながら見てくれる子ども達が多いのです。そのパワーに負けないようにとがんばっています。

三学期に入ったら、きつとあつという間に公演最終日が来てしまうと思いますが、一つ一つの公演を大切に演じていきます。

たのきゅつうのうわばみだいじ班
 太田 令

新年あけましておめでとうございませう。

新年を迎えて、まず最初にすることは「今年の目標」を立てることだと思えます。しかし、年度後半になってくると忘れてしまふ、なんてことも多々あると思います。なので今年はあるて、目標を作らないでいこうかと思っています。

今行っている巡回公演や、お話をしてくれる子ども達への対応の仕方や取り組む姿勢や心構え、そういう基本的な部分を今一度見つめ直してみることに集中するという年があってもいいのでは

園からの声



かもとりごんべえ

■盛保保育園(岩手県大船渡市)
 「さんびきのこぶた」は、お兄さん(もぐらさん)の表現力(声の大きさ、強弱など)がすばらしかったのと、子どもの笑いを引き出すユーモアな演出(狼のキャラ)がよかったです。

狼は悪いのに、なぜか子どもたちが狼に頑張れと声をかけたがり、夢中になって見ていたのがとても印象的でした。お話がシンプルでわかりやすいのもよかったです。

「かもとりごんべえ」はごんべえが表情豊かで、演技力があり保育士たちもみんな引き込まれて見せていました。

全体に楽しかったし、おもしろかったです。ありがとうございます。

たのきゅつうのうわばみだいじ

■一関南保育園(岩手県一関市)
 リズミカルな音楽や数をかぞえたりすることなど、子ども達が楽しめる内容が盛りだくさんあったので、大きい子も小さい子も最後まで集中して観ることができました。

保育者も楽しめる話で、とてもよかったです。ありがとうございます。

トビー・トビー

■宇多津町立中央保育所(香川県宇多津町)
 「ドードーとけんた君を守ってあげたかったけど、そっちへ(舞台側)行けなかった」
 「早変えする大道具がすぐかった。シャワーって動いたで」
 (4歳児の感想より)

「地球がなくなったら、人間もドードーみたいになるかもしれない」

「ひとりぼっちになつてしまふかも」

「地球を守っていききたい。地球はみんなのものだから」
 (5歳児の感想より)

■すみれ保育園(山口県周南市)
 環境問題や教育で本当に大切なことー一人ひとりが優しさをもちつことを、ミュージカル人形劇を通して感じる事ができた貴重な話でした。

午前中、観劇して、昼から園庭で遊んでいる年中児の一人が、庭の木を蹴っていたのを見つけた他の園児が、「優しくしないでいけなよ。お話であつたよ」と伝える姿が見られました。子ども達にもちゃんと伝わっています。

■横田幼児園(鳥根県奥出雲町)
 環境問題を意識した作品で内容が難しいかなと思つていましたが、観た後「お花みたいに悲しい気持ちになるから、木とか

■しらかば保育園(青森県青森市)
 内容や演技が子ども達の心を引きつける感じが有り、小さい子も集中して観ることができたのでよかったです。一つのお話を50分間じつと観ているということは、ドキドキ、ワクワクしたおもしろさがあったのだと思います。楽しい時間をありがとうございました。

■泉第一幼稚園(宮城県仙台市)
 先日は、楽しい人形劇を見させていただき、ありがとうございます。

子ども達は、お話の世界に引き込まれ、夢中になって見えました。子ども達の笑顔も見られ、『うわばみ』が怖くて泣く子もいましたが、見終わった後、『うわばみごっこ』をして遊んでいたほど、印象に残ったようでした。

前号(128号)でご紹介した平泉保育園様のお便りの中に畑野保育園様のお便りが誤って掲載されておりました。心よりお詫び申し上げます。訂正の上再度掲載させていただきます。

■畑野保育園(新潟県佐渡市)
 うわばみの登場にみんな驚き、とても喜んでいました。昔話の良さをこれからも子どもたちに伝えていってほしいと思います。

■平泉保育園(新潟県佐渡市)
 うわばみが出て来るまでは途中飽きてしまい集中できない子

幼児向け環境劇公演で「とべ! ドードー」を上演

昨年の10月8日(月・祝)、大分市にあるiichiko総合文化センター音の泉ホールに於いて、大分県生活環境部地球環境対策課主催による「幼児向け環境劇公演(ホール公演)」が開催され、すぎのこは地球温暖化をテーマにした「とべ! ドードー」を上演しました。

この事業は、「幼児が楽しみながら環境問題に対する理解を深めることができ、環境の取り組みに関心を持つきっかけをつくることできるような」との主旨で行われています。

当日は、多くの親子連れの参加があり、上演後、登場した人形たちがロビーに出ると、観劇した子どもたちが人形を取り囲む輪ができ、担当の方が「今までになかった盛り上がりです」と言って、さかんに写真を撮っていらっしゃいました。

「とべ! ドードー」は、劇団すぎのこ環境三部作の第二作として「地球温暖化」をテーマにした作品です。他にも「オゾン層の破壊」をテーマにした「みどりのほし」、「森林破壊」をテーマにした「やくそく」などがあります。

すぎのこの「環境教育人形劇」に関心・興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。



制作だより

明けましておめでとございます。寒い日が続きますが皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年は残念ながら諸事情で劇団を去った役者がいたり、最年少19才の新人女優が誕生したり、私事ではありますが三男「伊三郎」が誕生したりと、出会いと別れを感じた一年でした。年が明けて今年も、「平成」になって早くも25年。四半世紀がたちます。あらためて考えをめぐりますね。

「すぎのこ」は今年で創立49年になります。来年は創立から数えて半世紀、50周年という大きな節目を迎えます。そのため制作部では、新たな事業展開に向けた準備や、今春からの新作も含めた全国巡回公演のスケジュール調整で大忙しです。「50周年記念事業」は、具体的にになりましたらみなさまにも改めてご報告いたしますので、どうぞご期待ください。

今年も「すぎのこ」は、全国の子ども達に「ナマの舞台の感動を」というスローガンのもと、昔ながらの日本人の「しなやかな感性とあたたかい心」を届けてまいります。未来を担う子ども達のために皆様からのご支援、ご協力お待ちしております。

(白石高章)

賛助会員の方からのお便り

私が「すぎのこ」と関わり合いを持つようになったのは、娘が劇団「すぎのこ」に入ってからのことです。

細かい班に分かれて、全国の子ども達にナマの舞台の感動を届けるという巡回公演が素晴らしいと思いました。

娘は「すぎのこ」に入る前には東北地方の劇団に入っていて、巡回公演をするようになると、移動の大変さや各地の子ども達の良さについても、いろいろと話を聞きました。

たまたま「すぎのこ」のHPの更新を私が引き継ぐことになって、ますます「すぎのこ」のこのことを知るようになりました。

「すぎのこ」も法人法の改訂にもなって公益財団法人に移行をし、賛助会員数の条件がありますから、できるだけ協力したいと思っています。(小倉 清)

は? どういう芝居ができるようになっていたか、などと考える年があってもいいのでは? と、昨年末から思ったりして

ます。なぜなら我々の仕事は、自分達だけではなく、お会いする先生方、子ども達がいってこそ成り

立つものだと思うからです。そうした人達に目を向けていくことは、とまっているからです。

ごぼうのなみだ

を守りたいと思った「お花も人間と一緒に生きていくから大切にする」などと、子ども達なりに感じ取ってくれたよう、うれしく思いました。

■川戸保育所(広島県北広島町)

絵本を注文された保護者の方から、「内容に感動しました。

わかりやすくてためになるので、小学校の読み聞かせに読むことにしました」との連絡が入りました。

早くも子ども達への種まきはじまっています。

■潮見幼稚園(長崎県佐世保市)

保護者からも好評で、理事長・園長共に鼻が高くなりました。すばらしい演技力でした。やっぴよかったです。

期待以上のものを見せてもらいました。

■敷戸ふたひ幼稚園(大分県大分市)

子ども達が喜ぶ会話や音楽、演出でしたので、終始ワクワクさせられました。笑いの中にも心にしみる深い内容があつて、考えさせられるところもありました。

子どもの心の教育に意義のある観劇だったと思います。ありがとうございました。

■住吉幼稚園(長崎県長崎市)

小さい子には少し分かりにく

いお話でしたが、心の中に留めて、いつか「ごぼうのなみだ」の意味を思い返す日が来ることを願っています。

■武蔵児童館(大分県国東市)

毎年子どもたちと一緒に楽しみにしています。

今回のお話は、楽しさの中にもホロッとくるような場面があったり、お話を通しているいろいろなことを感じました。きっと子ども達も同じ気持ちになれたのではないのでしょうか。

おとなも子どもも共感できるステキなお話に出合えてよかったです。

■芽豆羅保育園(大分県宇佐市)

観劇後、5才児が自発的に園の廃材コーナーで、発泡スチロール、ジャンボ松ぼっくり、プリン容器などを使って、おじょうさんやお供え物を作成していたことに驚き、感動しました。

すぎのこさんの劇の影響力は大きいですね。子どもたちに感動をありがとうございます。

■昭徳保育園(長崎県佐世保市)

毎年楽しみに観劇させてもらっています。

今回の内容はどうかと思っただけでしたが、小さい子ども達も引き込まれるように見えて、とてもよかったです。舞台装置など、いつもよくできていて感心します。

■佐々神田保育園(長崎県佐々町)

お話をする声のトーンもよく、しっかり聞き取ることができました。

小さいクラスの園児(0~1才児)も興味深そうに見ていました。年長・年中は内容もしっかり理解することができたとおもいます。

ねずみの嫁入り

■兼城幼稚園(沖縄県糸満市)

生活発表会前ということ、子ども達も劇に興味をもち、とても楽しみにしていました。

道具にいろいろいると仕掛けがあったり、太鼓打ちがあつたりと、見ていてワクワクする内容でした。子ども達の目線に合わせた人形の作り方など、内容も豊富でした。

最後には人形と握手できるように配慮してくださって、うれしかったです。

■むつみ幼稚園・保育園(新潟県十日町市)

太陽より雲、雲より風というように強いものが登場してきますが、そのときの演出で雲が太陽を隠す動き、風が雲を吹き飛ばす動きなどが実際にあると、小さい子はよりわかりやすいのではないかとこの感想がありました。見ている側に想像させるという意図があつたのかも

しれません。……

■豊殿保育園(長野県上田市)

日本の昔話だったので、子ども達も興味をもって集中して見ていました。ストーリーもわかりやすかつたため、思わず掛け声や笑い声が出て、とても楽しかったです。



事務局より 御挨拶



あけましておめでとうござい
ます。

昨年中におきましては、人形劇を観劇いただいた皆様、賛助会員、財団法人JKA、株式会社小学館をはじめ個人の篤志家の方々や御後援いただいた団体の皆様方に多大なるご支援ご協力を賜り、無事に事業を実施する事ができました。心より御礼申し上げます。

創立以来48年間、人形劇全国巡回公演を主な事業として活動を続け、今日迄に延べ750万人を超える方々に私どもの人形劇を観劇いただきました。この間、社会の情勢や私たちのライフスタイルも大きく変化を遂げましたが、舞台芸術が豊かな情

操と創造性の涵養を図る上で大きな役割を果たすことは誰もが認めることであり、特に人間形成の苗床とも言われる幼児期に及ぼす影響は計り知れないものがあります。

「どの子にもナマの舞台の感動を」というスローガンのもと、全国どこでもどんな小規模施設でもうかがって未来を担う子ども達へ人形劇をお届けする私どもの活動が、現在でも多くの皆様方に支持され続けていることは、こうした活動の社会的意義の重要性を証明するものであると確信しています。

しかしながら、どんなに素晴らしい人の心に沁みる人形劇でも、観劇の機会がなければ観ていただくことはできません。一人でも多くの方に人形劇に親しんでいただくため、今年もあらゆる場所で公演のご案内を続けて参ります。

アンケート「今後見てみたい作品」

すぎのこはいつも観劇後にアンケートをお願いしています。この一覧表は昨年いただいたアンケートで『今後見てみたい作品』

題名	票数
桃太郎	9
三枚のお札	8
おむすびころりん／さるかに合戦／かさじぞう	5
ごんぎつね／浦島太郎／三匹の子ぶた／ブレーメンの音楽隊	4
カチカチ山／はなさか爺さん／ジャックと豆の木／赤ずきん／白雪姫	3
三びきのやぎのらがらどん／おおかみと七匹のこやぎ／花さき山	2
こぶとり爺さん／ピーターパン／ごんぎつね／赤いろうそくと人魚／小人の靴屋／山々のへっぴりさま／裸の王様／オズの魔法使い／大きなかぶ／うさぎとかめ／ヘンゼルとグレーテル／切り株の赤ちゃん／たぬきの糸車／因幡の白兔／手袋を買いに／めっきらもっきらどおんどん／おまえうまそうだな／ねずみのすもう／よくばり和尚／孫悟空／シンデレラ／三年寝たろう／半日村／とべないホテル	1

※最近すぎのこが扱った作品は外しています。
※この中には過去にすぎのこが扱った作品もあります。

品』をまとめたものです。『みんなが知っている日本の昔話』が大半を占めているのがわかります。昨今、幼稚園・保育

私は大人になってから「すぎのこ巡回人形劇場」と出会いましたが、日本人らしい「思いやりの心」や「しなやかな感性」と、優しく逞しい心」といったことに触れ、改めて尊敬する友人や大切な人のために自分は何をして来たのか。また何ができるのかを考え、行動しなければならぬと思ふようになりました。

自分の利益だけしか考えない人生は、他人からそっぽを向かれてしまうでしょう。良いものは人と分かち合うことで、その価値を何倍にもできるのではないかと思います。私どもの賛助会にもすぎのこの理念に共感していただいた多くの方々に会員としてご登録いただいております。

地味でささやかな私どもの活動ですが、新年も変わらぬご声援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。(清水 治)

園の先生方からも、保護者の方も含めて昔話を知らない人が多く、というお話はしばしば聞かれます。今後もしすぎのこは、日本の未来を担う子ども達に日本の心を伝えていきます！

活動記録(平成24年10月〜12月)

11/21	第二回臨時理事会
12/6	於・飯能研修センター (財)JKA提供・文化放送「日曜日はがんばらない」RING! RING! P R O J E K T 60秒インフォメーション収録(1月27日10時〜10時30分放送予定)
12/25	第二学期全国巡回公演終了

賛助会員募集!

すぎのこは今「税額控除認定法人」(認定法人への寄付金の一部は納税額から控除されます)を目指し、賛助会員募集中です。すぎのこの活動を側面から支援するだけで何の見返りも無い賛助会ですが、入会された方には会員証の外に、アンパンマンでおなじみのやなせたかし先生がデザインした、すぎのこ「すくすく」のバッジ(写真)をお贈りしています!



すくすくレモン(入会3年未満)



すくすくルビー(入会5年以上) すくすくオレンジ(入会5年未満)

公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会 定款施行細則「賛助会規程」

- 賛助会に「賛助会規程」を以下に定める。
- 賛助会に関する基本事項に関しては、定款第45条によるものとする。
- 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
 - 賛助会費を納める「会費制賛助会員」

個人	年額	3,000円	以上
団体	年額	10,000円	以上
個人	年間	3日間以上	
団体	年間	5日間以上	
 - 知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」
- 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費(技能提供予定書)を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならぬ。
- 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
- 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。
- 会費制賛助会員が2年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が2年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
- 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
- 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
- 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に関して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
- 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名することができる。
- 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
- 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
- この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。

*会費納付のお願い

皆様には大変ご負担をおかけしておりますが、今年度の会費納付をお願い致します。皆様の会費納付により「税額控除団体」の指定を受けることができます。ご理解のうえ何卒よろしくお願い致します。

*公益法人への税制支援策

- 企業の寄付に関して
 - 企業が一般に寄付する場合(課税対象額から損金算入限度額内の実費が控除される)
 - *企業寄付金の損金算入限度額=(所得基準額+資本基準額)÷2
 - *所得基準額とは所得額の5%をいう。資本基準額とは資本金の0.25%をいう。
 - *資本基準額:資本金等の額×(当期月数÷12)×2.5÷1000=(資本金の0.25%)
 - 企業が公益法人に寄付する場合
 - *一般に寄付する場合の枠と同額を損金に算入出来る。(所得額の2.5%+資本金の0.125%)+(所得額の2.5%+資本金の0.125%)
- 個人の寄付に関して
 - 個人の寄付は課税対象とはならない
 - 個人が寄付金の所得控除を受ける場合
 - *所得控除額=寄付金額-2000円(但し所得金額の40%以内を限度とする)
- 公益法人が税額控除対象法人になった場合の個人寄付は
 - 住民税税額控除:税額-税額控除(寄付金額-5000円)×住民税率(所得金額の30%以内が限度)
- 公益法人が税額控除対象法人となる条件
 - 認定NPO法人の認定要件下記PST(パブリック・サポート・テスト)を満たす事。
 - 1(受入寄付金総額-Iの金額)÷(総収入総額-Iの金額)が20%以上である。
 - I. 一人で受入寄付金総額の2%を超える部分+3000円未満の寄付金+寄付者氏名不明者寄付金
 - II. 国・地方自治体からの補助金や負担金+資産の売却収入+遺贈により一人で受入寄付金総額の2%を超える部分+3000円未満の寄付金+寄付者氏名不明者寄付金
 - 2絶対数判定:実績判定期間内3000円以上の寄付者が年平均100人以上である。
 - 実績判定期間=5年(但し公益制度改革期間内では2年の特例あり)
 - *生計を同じにする会員は複数いても一人と見なされます。
 - *認定NPO法人の認定要件と同程度の情報公開に関する要件を満たす。